

白石草仙台講演会 参加者アンケートまとめ 全38枚 (2019年11月30日 放射能問題支援対策室いずみ実施)

	3. 講演会に参加した理由	4. 講演でわかったこと、ご感想	5. 会へのご感想
1	チェルノブイリの原発や放射能の人体の影響を知りたいから。	知らなかったことが、数多く知ることが出来、大変勉強になった。	すばらしい正義の活動をしていることに感激しています。今後もずーとこうした催しを続けてほしい。僅かですがカンパしたい。
2	被曝したフクシマの子どもたちを支援したいと考えたから。	国による恐るべきいんぺいを私たちの力で暴いていきたい。	よい企画をありがとうございました。
3	晩発性内部ヒバク？による難病、発症（過去の核実験？）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故後、何んにも健康診査も実施せず、どの様な影響を与えるデータで検証されるべきなのに、無かった、無念。</li> <li>・今年、仙台であった、血液ガンについて講演会ありましたが、最近急速に発症される方が増えています。やはり放射線の影響もあるのではと思いました。遺伝子をこわす原因でもあるので、また、治リョウ方法も研究段階で、今日の話のように苦しむ方が増えるのではと思っています。</li> </ul>	
4	30年後を知りたかった。	ポインターがくるくる廻りすぎ！見づらい。気持ち悪くなった。	
5	チェルノブイリに常に興味がありましたので参加しました。	ガンの恐さをあらためて感じました。	皆様方は知識が十分おありですので政府を動かせないのか。私は87才です。
6	白石草様の日頃の活動にいつも感銘を受けています。	甲状腺検査に関する問題点の全体の流れをあらためて確認でき、大変参考になりました。鈴木眞一先生の立場、内心など特に興味深かったです。今後とも大マスコミでは伝えてもらえない情報頑張って伝えて下さい。	貴重な講演会ありがとうございました。

7	フクシマの影響は今どうなっているのか知りたかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台（宮城）でも甲状腺ガンのリスクがあること。</li> <li>・将来にわたってリスクはあるのだと知った。</li> <li>・エコーや検査の必要性について気づいた。</li> <li>・必要な情報が知らされていないことに問題を感じた。</li> </ul>	
8	8年経過して忘れてしまいそうな放射線について公表されなかった事を知りたかったため。	甲状腺がんのおそろしさ、そして苦しむ子供たちの事をはじめて知り勉強になりました。原発の事故が一度起きると永遠に課題と向き合わなければと思いました。	このような会があることが分り頭が下がる思いです。地道な活動をしていることを友人にも広めたいと思っています。
9	福島のことはいつも気になっているが、新聞やTVのニュースが本当かどうか疑問に感じることもあり、本当のことが聞きたいと思って。	しっかりとした事実に基づいたお話しで身にしみてきました。ありがとうございました。知らないことがたくさんありました。いかに、あいまいなニュースしかまわりにならないことがわかり、自分から求めないと、と益々思いました。	
10	これまでどんな活動をされてきたのか知らなかったのので、話を聞いてみたいと思い参加しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイソトープ治療がとても厳しく、心身両面に負担の大きい治療だということが分りました。</li> <li>・普通の健康診断で見つかることが多いという事を聞き、1人ひとりが検診を受け自らの経年データを持つことが大事だと思いました。</li> <li>・これからもマスメディアが取り上げない社会の片すみの小さな声を拾い上げてください。</li> </ul>	
11	以前から、原発事故に関心があったから。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原発の再稼働なんて絶対だめ!!</li> <li>・私たち年配にとっては人生の1部でも、思春期の子どもたちの被ばくは大変なことだと再認識!!</li> <li>・人類のえい知で解決できない原発をどうして許しているのか、どうしても理解できません。</li> </ul>	この様な講演開催していただきありがとうございます。準備おつかれ様です。

12	女川原発のこともある。日本、世界を巻きこむ問題。自分のこととして考えるため。正確な知識と現状を知りたかった。	明確なお話（説明）と丁寧な資料→感謝！有難うございました。	
13	放射能についての学習のため。	福島第一原発事故とチェルノブイリ事故それぞれの後の対応の違いはなんでなんだろう。日本の場合は原発事故をなかったことにしていると思えないし、今後も原発を再稼働、新設をもくろんでいるとしか思えない。先日来日したローマ教皇の言葉をかみしめてもらいたいものだ。	甲状腺エコー検査ではいつもありがとうございます。
14	福島の健康被害の実情について知りたい。白石さんのインタビュー記事を読んだことがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイソトープ治療。・甲状腺がん治療の具体例。</li> <li>・未来を奪われる子どもたちが気の毒でなりません。</li> <li>・このような子どもたちの悲劇を生み出さないようにするには脱原発しかないのに。</li> <li>・女川の再稼働の審査の合格ありえない。</li> <li>・被害者を見捨てる、無視するような社会にしてはいけない。これからも取り組んでいかなければいけないという辛い現実。</li> </ul>	良い講演会ありがとうございました。
15	ジャーナリストによる現状報告に興味があったから。		
16	原発事故と甲状腺がんの人数との関係について知りたかったから。	健康調査がうちきりの方向に進んでいるということ。	

17	白石さんは、東電刑事裁判や子ども裁判等■■■■、参加した。	福島の話がシェア出来てよかったです。女川原発再稼働「合格」が出た直後の講演会なのでタイムリーだと思います。	
18	難しいテーマなので、話を直接きくことで理解を深めたいと思った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイソトープ治療のこと、それを受けている女の子の話。</li> <li>・手術の映像（少し見るのつらかったけど…）</li> <li>・実は大人のリスクが高いということ（感じてはいたけど、やはり…）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世の中から放射能に関する会などが減っている中、この講演を開いてくれたことにエールを送ります！（回を重ねる毎に、少しずつ参加者が減っているように感じ、残念…）</li> </ul>
19	3.11子供基金に寄付等をしているので関心があった。白石さんの書いた文書等を読んでいたの直接話を伺いたかった。	小児甲状腺がんだけでなく、大人の疾患も増加していると聞いています。気になります。国、電力会社等のやり方には本当に怒りをおぼえます。	
20	新聞等で福島県のお子さんたちの甲状腺がん多発？に関して過剰診断などの議論があることを知って疑問を持っていたので、詳しく知りたいと思いました。	広島長崎の大学の先生が患者寄り（？）でないというのにびっくりしました。甲状腺がんは検査により十分な早期治療が行われて、予後は良いと思い込んでいたので、再発転移などの例を聞いてショックを受けました。会津地方や宮城県、関東などでも患者が出ていることも知らなかったの、これもショックでした。	たいへん勉強になりました。ありがとうございました。

21	一般メディア（もちろん政府も）が伝えない、伝えようとしないうことを知りたかった。	本当にくわしく説明していただき、わかりやすかった。福島原発事故にかぎらず、ひとくくりに〇人とされて発表、報道されるが、ひとり、ひとりにそれぞれの人生や違う状況があることを本当に私たちが想像力をもって考えることが大事だと思う。そのことから私たちの行動の出発点も違ってくるのではないか。	
22	原発の課題に関係していたから	「過剰診断」の使い方；原発事故で避難しないという選択肢のねらいが理解できた。小児の甲状腺ガンしか放射線量と健康被害の因果性が証明できないカラクリといえるものが理解できた。	
23	ロナルドレーガン号の被曝等報道されていない問題が沢山あると感じているので、ほんとうのことが知りたかった。	大変勉強になりました。すばらしい企画ありがとうございます。	
24	原発被曝へ関心あったから。	チェルノブイリ法とのちがいがわかりました。関心をもって見て、広めてゆかなければ、それは大人の責任と思う。このような話をひんばんにおききたい。心より活動を応援しています!!	放射能被曝についてもっともっと。

25	<p>・宮城の子ども達の健康被害がとても心配です。</p> <p>・無策の県知事（丸森の健康調査のみ・それもずさん）の姿勢に憤り。</p>	<p>①従来の講演会・学習で判明しなかった、「進行の早さ」「重度」の現状が具体的に学べたこと。②マスコミの不がいなさ、商業新聞の怠慢、政権傾斜へ憤り。③勿論、政府の犯罪性、厚生省の罪、（東京地裁の無罪不当判決、東電の無責任）福島県・医師会・県立医大の非人道性に憤り◎環境省-復興庁のウソだらけ。④チェルノブイリスタンダードが全く反映されていないこと。30年の実例に学ぶべきなのに…この国はなんと非法治国なのか（憤り）⑤こうした実態にも関わらず、現政権が長期に亘って延命している事の不条理。</p>	<p>◎女川原発再稼働を止めるため最大の手立てを進めましょう。12月県議会・規制委への圧力をかけましょう。マスコミ対策で民意喚起を進めましょう。6割再稼働反対を7割へ、8割へ拡大しましょう。</p>
26	<p>福島県内での甲状腺検査中止の意向に疑問をもち、いろいろな方向のお話をききたいと思い参加しました。</p>	<p>チェルノブイリの状況もきちんとときけとても有意義でした。私自身は基礎的な事から勉強していきたいと思います。</p>	<p>これから先も、このような講演会を期待しています。又、いずみの活動の継続、ぜひぜひおねがいしたいと思います。</p>
27	<p>原発事故による健康被害や放射能汚染の程度について知りたかったから。</p>	<p>多くの大切なことが隠されたり、「都合の悪い人」が排除されていることを知った。また、被曝した少女の生々しい、恐ろしい状態のことを聞いた。耳を傾けなければいけない人の声を聞くべきだと思った。ウクライナの息子の闘病というのはどれほど凄まじかったのだろう……。</p>	
28	<p>原発による諸問題について自分との考え方の相違点について</p>	<p>とても解り易く内容の説明も良かった。福島の甲状腺被曝者は何故、承認されないのか。皆んで、反対運動を盛り上げる必要はないか。</p>	<p>今後、宮城女川原発再稼働の反対運動を盛り上げる方法は？宮城の場合、県議会・市議会とも、再稼働反対住民投票が否決された！今後は難しくなる！</p>

29	現状知るため。		
30	報道により知っているようで実際わかっていない自分。女川原発のこともあり、いろんな情報をより知りたいと思って参加。	甲状腺ガンについて その現状が詳しくわかった。思春期の子どもたち、未来ある子どもたちを襲った、原発事故の現実に胸が痛くなる思いがした。核廃絶！原発動かは絶対に反対！福島原発事故処理もままならないまま、避難し、多くの苦口を日々生活している人々、今生きている被曝したかもしれない私たちを含め少しでも希望のもてる社会状況にしていきたい。	
31	キチンとして、知りたかったから。	経過を30年もみないといけない事。手術の様子。甲状腺ガンについて理解が深まりました。情報を共有する手段として、週刊紙や赤旗の日曜版とかでも発信できたらいいと思いました。	
32	<ul style="list-style-type: none"> <li>・■■■でも、いずみさんに助けをいただき子供の甲状腺検査をやってきた。</li> <li>・■■■を立ち上げ、8年間活動してきた。最新情報を知りたかった。</li> </ul>	甲状腺癌になった子供たちのありように、ショックをうけた。数字ではなく、「生」の姿にリアリティがあった。「10年後から」ということばに決意するものがあった。	

33	<p>当時1才の孫が、何も知らされず、娘がおんぶして買い出しに行っていた。その後、放射線対策室いずみさんを通じて、甲状腺検査を受け異常はなかったが、その後、今の福島の実状を知りたくて。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射能汚染は、30～40年経過しても、尚、影響があるというのに驚いた。</li> <li>・遠く離れた場所でも被曝がありえるという事実も知った。</li> <li>・国では絶対教えてくれない現状を聞いて、とても良かった。</li> </ul>	
34	<p>私が20才の時に3.11が起こり、その後アルバイトで外出しなければいけなかったが雪が降っていたため（当時山形）、親が出してくれなかった。アルバイト先に理由を話すと、「何を馬鹿なことを言っている！」と次の出勤日から煙たがれ、「原発や放射能」とは何なんだろうと興味を持った。</p>	<p>気軽に参加したが、事態（現状）がとても重く、おそろしかった。何故これほどおそろしい現状や病気となる結果を、政府は「関係ない」とつっぱねるのが分からない。国民がパニックになるし、原発を設置した政府やアメリカが責められるからだろうか？でも、この事実を隠蔽しても、20年後30年後に甲状腺がんの大人たちが嫌でも沢山見つかれば、結局は原発社会や政府が非難されるのは変わらないのに。また、会社や学校、普段の生活では「原発」の話題はタブーとされる。これも政府やマスメディアが敢えてそうさせないようにしているように感じる。市民がもっと環境や健康に興味を持ち、個人（一人一人）の教養が高くなれば社会がもっとこの問題に対して寛容になり、「原発って怖い、人間が扱っていいものではないから他のもので補おう」という考えが生まれて、よりよい社会になるとよい。</p>	<p>当時18才以下だった子どもだけではなく、それ以上の人たちの甲状腺エコー検診もしてほしい。</p>



35	チラシをみて何となく話をきいてみたかったから。	かなり濃厚な内容であった。私は21歳であるが同年代で闘病している女性の存在に驚いている。私は人文系の学問を専攻しているので、原発に関してはよくわからないで通してきたがかなり重要な問題となりそうに思いました。私は震災の時、中学生でしたが放射能に関しては現在にいたるまでよくわからなかった。もう少し、情報が欲しいと思いました。当時の事実確認を検証すべきではないでしょうか。ガンについては突然云われると動揺します。自分の人生はどうになってしまうのか不安になってしまいます。	かなり重要な情報を提供してくれたと思う。これからも続けて欲しい。
36	福島に被害者に寄り添い続けたジャーナリストの話を聴きたい！	甲状腺検査の実態をよく理解できた。なぜ変な報道がまかり通っているのか、その裏側の話も聴けてよかった。	
37	チェルノブイリ事故から33年、福島原発事故から8年経過して、情報が消費(?)されてしまっている状況にあって、忘れないためにも、確認の意味でも、何度でも刺激をもらいたいと思っているのでいい機会だと考えて参加したものの。	資料が豊富で具体的な内容を聞いて良かったです。改めて、フクシマの現状について学ばせていただきました。地域でも話題にしていきたいと思います。 追記；「外部被曝のことでさえ影響はない」と言っているのに、「内部被曝」-山菜などのセシウム濃度によるものなど-については、情報がなくなっている、のは仕方がないけど、私は、まだまだ問題だと思っている。そういう研究している人はいるのだろうか。質問？	

38	最も責任の重い現政権がどこまで反原発、原子力政策をすすめているのかを知りたい。	予想はしていたが、予想以上の反原発政策だと分りました。私は現在は、最近入会した「□□□□」（□□□）でも□□□□して取り上げている。戦前、戦後の「反国民的」政権政策の「おそろしさ」を新めて思い知らせて頂けました。一日も早い「市民野党共闘」の強化発展を願っている現状です。	御苦労様です。また「企画」等があったら、アカハタ日曜版に折込みを入れて頂けると必要な部分に比較的早く拡散できると□□□□□□。（私の場合は、■■■■に折込みして頂けると助かります。SNSも出して頂けると有難いです。）
----	---	---	--

※アンケートとりまとめにあたっての特記事項

①記載内容について、読み取り・識別不能な箇所があった場合、□□□というように記録。

②誤字であることが明らかな箇所は編集者の判断で修正した（数ヵ所）。

③個人情報保護の観点から、個人が特定できるおそれがある箇所についてのみ、■■■■というように編集者の判断で伏せ、修正した。